



## 高校礼拝堂にて行われた教職員クリスマス礼拝にて

### Contents

年頭所感(理事長、学院長) .....	2	大学・黒髪乳児保育園からのお知らせ .....	5
創立記念礼拝・永年勤続表彰		中学・高校からのお知らせ .....	6
インターナショナルスクール小学部からのお知らせ .....	3	こども園からのお知らせ .....	7
クリスマス特集2023 .....	4	聖書の言葉(崔チャプレン)/エル・サポートからのお知らせ .....	8

# 年頭所感



理事長  
福田 邦子

## ご挨拶

2024年の新春は、皆さまいかがお過ごしでしたでしょうか。ご家族の皆さまと一緒に和やかなひと時を過ごされたことと存じます。

新年早々、能登地方では大地震が発災し、日を追うごとに被災の大きさが報道され、数多くの方々の人命が失われました。心よりお悔やみを申し上げます。

さて、今年4月には、九州ルーテル学院ではインターナショナルスクール小学部が開校致します。これは、学院の創立100周年記念事業の一環として取り組むものでございます。

様々な課題がございますが、この事業を成功させるために役職員一つにして努力していきたいと思っておりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。また、正門周辺整備や高校本館の保存・改修整備、大学2号館バリアフリー工事など創立100周年記念事業が計画されております。2026年に迎える創立100周年が明るい希望に満ちたものになりますように祈念しています。



学院長  
内村 公春

## 「恐れるな」

“恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け わたしの救いの右の手であなただを支える。”(イザヤ書41章10節)

能登半島地震、羽田航空機事故という衝撃的な出来事から、この2024年は始まりました。熊本地震を経験した私たちにとり、被災者の方々の辛さ・無力感を思います。こんな言葉があります。「苦しい時こそ、前のめりであれ」。だから再び立ち上がり、歩き出す姿を心から祈り、願います。

熊本から世界に出た北里柴三郎は、ベルリン留学中の青年に、こんな言葉を語りました。「人に熱と誠があれば、何事でも達成するよ」と。

この4月、インターナショナルスクール小学部が開校します。2026年の創立100周年に向けての学院のチャレンジの1つです。だから私たちも「熱と誠」をもって祈りつつ進めていこうと思っております。その結果、学生・生徒・児童・園児たち、そして教職員が共に生き生きと学ぶ場としての学院が、神さまに守られ、この地域を照らす存在となることを目指せたらと願います。



# 創立記念礼拝・永年勤続表彰



## <表彰者一覧(計7名)>

### 40年表彰

藤原 べに / 高校・教員

### 30年表彰

井崎 美代 / 大学・教員

### 20年表彰

永守 浩之 / 中学・教員

### 10年表彰

田代 恵美 / 中学・教員

犬童 昭久 / 大学・教員

石坂 昌子 / 大学・教員

宮田 博司 / 法人・職員

2023年10月3日(火)大学チャペルにて九州ルーテル学院創立97周年記念礼拝及び永年勤続表彰式が行われました。創立記念礼拝では、司式の崔チャプレンから学院創立100年を迎えるにあたって、与えられた伝統を大切に、感謝していくことの重要性を述べました。続いて内村学院長により聖書「コリントの信徒への手紙Ⅱ4章18節」に基づき、「見えないものに価値をおく」という演題で教職員にメッセージが伝えられました。

永年勤続表彰式では、福田理事長による挨拶の後、法人事務局の宮田職員による代表挨拶が行われました。挨拶では「本日、勤続表彰の日を迎えられたことは、教職員の皆さまからたくさんの励ましをいただいたおかげだと思っています。これからも精進して参ります。」と感謝の言葉を伝えられました。

## 『九州ルーテル学院インターナショナルスクール小学部 開校記念シンポジウム開催のご案内』

2024年4月にインターナショナルスクール小学部の開校を予定しています。今後、熊本市や熊本県さらには我が国における国際教育の在り方及び国際教育を推進するうえでの教育環境の整備等に関して、広く周知を図ることを目的としたシンポジウムを下記の要領にて開催します。

### 「これからの日本における国際教育の重要性に関するシンポジウム」

日時：2024(令和6)年3月16日(土)14時～16時

場所：熊本県立劇場 演劇ホール

内容：■ 開会挨拶 福田邦子(九州ルーテル学院理事長)

■ 来賓挨拶 本田顕子参議院議員

■ 九州ルーテル学院インターナショナルスクール小学部の概要説明

松本充右(九州ルーテル学院大学学長・PT長)

■ シンポジウム「これからの日本における国際教育の重要性」

シンポジスト：熊本県知事 蒲島郁夫氏

熊本市教育長 遠藤洋路氏

タレント 関根麻里氏

第22期日本学術会議副会長 小林良彰氏

アオバジャパンインターナショナルスクール理事長

柴田巖氏(ファシリテーター)

近年、熊本県においては海外企業の進出や海外からの人材の流入などにより、急速に国際教育の必要性が求められるようになりました。

インターナショナルスクールの教育と日本の教育を比較しながら日本の教育をグローバルな視点から問い直すとともに、国や地域を超えて、教育に携わる私たちが共通に大切にしている理念や行動、考え方について探究します。

事前予約制となります。

詳細は九州ルーテル学院  
ホームページに掲載予定です。



<https://www.kluther-gakuin.jp/>

# クリスマス特集 2023

## 九州ルーテル学院(全体)

イエス・キリストの生誕を待ち望む期間(アドベント)に合わせ、クリスマスイルミネーション点灯式を12月1日(金)夕刻に開催しました。

中学・高等学校礼拝堂にて崔チャプレン司式のもと点灯礼拝が行われた後、高校本館前ロータリーに移動し、ルーテル学院幼稚園園児(年長組)による讃美歌合唱の後、大学付属黒髪乳児保育園の代表園児2名によって点灯ボタンが押されました。

メインツリーも鮮やかですが、坂道のラクダや高校本館にある星はマタイによる福音書2章1節~12節で描かれている様子を表しています。ぜひ来年もご注目ください。



## 九州ルーテル学院大学

12月22日(金)に大学チャペルにて、大学クリスマス礼拝が行われました。チャペル委員の学生を中心にリハーサルや準備を進めました。当日は本学の聖歌隊、ハンドベルチーム、オルガニストに加え、松本学長をはじめとする有志も加わり讃美が行われ、音楽に満ち溢れた素敵なクリスマス礼拝となりました。また、「地上の星」と題して金戸教授の奨励が行われ、学生・教職員等、参加者が心をひとつに全員でクリスマスの喜びをわかち合いました。なお、学生・教職員等から寄せられた献金は、シオン園とチャイルド・ファンド・ジャパンに寄付されます。



★保育園は5ページに記載



## ルーテル学院中学・高等学校

### 「キャロリング(12月21日)」

中学生・高校生約50名の有志が集まり、学院内と室園教会で讃美歌を歌い、クリスマスをお祝いしました。短い練習時間だったにもかかわらず、美しい歌声で心をひとつにクリスマスの喜びを分かち合いました。



## 認定こども園ルーテル学院幼稚園

救い主イエス様のお誕生をお祝いするクリスマス。こども園では、12月13日(水)と12月16日(土)の2日にかけてクリスマス礼拝を行いました。

毎年、年長組の子どもたちが聖劇で「クリスマスの出来事」を伝えています。



《0、1、2歳児 クリスマス礼拝》  
お祝い会では、かわいいトナカイになって歌をうたったり、リズムに合わせて手作りベルをならしました。

《3、4、5歳児 クリスマス礼拝》  
それぞれ学年ごとにハンドベルや歌などでお祝いました。



未就園児の活動『こひつじの会』では、お家の方と一緒にクリスマスリースの製作をしました。  
クリスマス会では、あたたかいお茶とお菓子を食べながら、お母さん達の会話も弾み楽しいひとときとなりました。



## 大学のウェブサイトリニューアル! Instagram・X(旧Twitter)も運用開始!!

九州ルーテル学院大学のウェブサイトを更新しました。大学のイメージがより多くの人に伝わるように、トップページや学科専攻の動画はじめ様々な工夫をしています。特に「NEWS&TOPIC」では、日々の講義や学生の学内外での活動の様子、また、様々な行事や教員の研究活動等について積極的に発信しています。ぜひ、活気あふれる九州ルーテル学院大学の様子をご覧ください。

さらに、InstagramとX(旧Twitter)の本格運用も開始しました。こちらは、まだまだ手探りで運用ですが、多くの皆さんに学生たちの活躍や大学の魅力を伝えていきたいと考えています。ぜひ下記QRコードから、登録をお願いいたします。

Instagramは  
こちらからX(旧Twitter)は  
こちらから

## 本学学生が 大学コンソーシアム熊本賞を受賞しました

大学コンソーシアム熊本地域創造部会主催による「課題解決のための政策アイデアコンテスト」における熊本県課題「令和2年7月豪雨の被災地域における地域の持続に必要な取組み」に応募した人文学科児童教育コース4年平石莉乃さんが、令和5年11月18日(土)熊本大学で実施された研究発表会(熊本県課題の部)において、『大量に生じる災害ゴミに立ち向かう市民を育成する学校教育の構築』を発表し、大学コンソーシアム熊本賞を受賞しました。

地域における持続性のある人材育成をテーマに、自然災害に立ち向かう新たな地域の創造について研究発表し、その共感性(住民ニーズ)、実現かつ持続可能性、独創性、プレゼンテーション力が審査員から高く評価されました。



## たくさんの行事がありました!

### 11月:こどもフェスティバル

ステージ上で保育コースのみなさんと一緒に歌や体操を楽しみました。緊張もしましたが、お兄さんお姉さんの優しさに触れ、笑顔が溢れました。また、保育コースのみなさんのオペレッタや手遊びなどワクワクする時間を過ごしました。これからも学生のみなさんとの交流を楽しみにしています。



### 12月:クリスマス礼拝・祝会

初めて崔大凡チャプレンを迎え、3歳児と全保護者とともにお祈りを守りました。祝会ではクラスごとに可愛らしい姿や頼もしい表現を披露し、保護者の方も子どもたちの成長に目を細め、幸せな時間を過ごしました。



今年度はさまざまな行事が戻りつつあります。子どもたちは、保護者、地域、学院、学生…の皆様との豊かなふれあいを通して、たくさんの愛情を受けて、日々成長を続けています。

中学合唱コンクール(10月31日)

合唱コンクール

10月31日(火)に合唱コンクールが行われました。残念ながら2年生は学年閉鎖で参加できませんでしたが、1・3年生は無事行うことができました。ほとんどのクラスが練習の成果を十分に発揮できたと思います。1位の3年2組、2位の3年1組、3位の1年2組の皆さん、ベストピアニスト賞を受賞された林田健汰さん、指揮者賞を受賞された青山讃良さん、おめでとうございます。



「去年は新型コロナウイルスの影響で一曲のみの発表となりましたが、今年は2年生が参加できずに残念でしたが1年生と3年生で課題曲と自由曲と二曲を各学年で発表し歌えることができて良かったと思います。セリフの練習や準備が大変でしたが、本番は無事に終わることができて良かったと思います。」  
文化学習委員長  
山下璃子さん



中学生徒会発行  
「Luther新聞」11月号より



令和5年度熊本県高校駅伝・女子第35回全国高校駅伝

11月4日(土)に行われた熊本県高校駅伝において、ルーテル学院高校女子陸上部が2年連続3回目の優勝を果たし、12月24日(日)に京都・都大路で行われる「男子第74回・女子第35回全国高等学校駅伝競走大会」への出場を決めました。



1区古木愛莉、4区藤岡真実、5区日置滯が区間賞、2区吉田あゆと3区上長奈々子も区間2位の好走でした。全国大会では、1区古木愛莉が5位という滑り出しでしたが、健闘及ばず最終的には31位でした。次回、県3連覇、全国入賞を目指してこれからも頑張っていきます。たくさんの応援ありがとうございました。

ソフトテニス  
日本代表強化指定選手に  
野中翔太さん

高校2年生の野中翔太さんが、全日本ソフトテニス連盟の「令和6年全日本アンダー17男子選手」に選出されました。熊本県、九州、全国それぞれの選考会を経たうえでの快挙です。今後国内での強化合宿等を経て、国際大会に挑みます。



バトントワリング全国大会で  
土山心温さんが優勝

12月9日(土)に行われた「2023 Japan Cup -日本選手権-」の高校生バトントワリング部門において、高校3年生の土山心温さんが悲願の優勝を果たしました。



全日本ジュニア総合馬術選手権  
チルドレンライダー選手権で、  
高校1年の門岡蘭さんが優勝

1日目の馬場馬術、2日目の障害飛越を1位で通過し、最終日のクロスカントリーまでトップを譲らず、上位3人馬の僅差の争いを制しました。(9月8日～10日、山梨県)



ルーテル区役所



12月25日(月)、ルーテル区役所の活動の一環として、有志の生徒達が熊本市東区の避難所開設動画作成に参加しました。

先の熊本地震を教訓に、災害時に避難者の安全やプライバシーを確保しながら、避難所を効率良く運営するためのモデル動画の撮影で、熊本市東区の協力依頼を受けての参加でした。午前中は東区役所でHUG(ハグ)と

呼ばれる避難所運営のシミュレーションゲームを行い、午後は近隣の小学校体育館で避難所を開設・運営する場面を想定した動画を撮影しました。

今回本校から参加した2人は、撮影スタッフの方々も驚くほど積極的に発言や提案をし、大活躍でした。

災害時の備えが如何に大切であるかを、身をもって学ぶことができました。



《蚕がやってきた》

9月、年長さんのお部屋に生まれて6日目の小さな蚕がやってきました。蚕は家畜として造られた生き物で、人がお世話しないと生きてはいけません。蚕を飼育し、成長過程をみんなで見ていくことになりました。



生まれたばかりの小さな蚕に興味津々です。「小さい!」「可愛いね!」「ちょっと怖いかも…」様々な感想がありました。



蚕は人がお世話しないと生きていけないことを教えてもらった子ども達。早速、お部屋での飼育が始まりました。蚕は【桑の葉】しか食べません。蚕が食べやすいようにはさみで小さく切ったり、ウンチの掃除をしたりと、毎日丁寧にお世話をしました。

「(蚕は)何センチになったかな?」「どうやって桑の葉っぱを食べてる?」「ウンチも大きくなっているのかな?」お部屋ではお世話の他に、蚕の研究も始まりました。



虫眼鏡で観察中…



幼稚園に『蚕博士』がきてくれました。子ども達の『なぜ?』『どうして?』の疑問に答えながら、蚕の生態について教えてくださいました。



体も大きくなり蚕が糸を吐き始める頃、蚕が繭をつくるお部屋【まぶし】を、子ども達がトイレトペーパーの芯や段ボールで造りました。蚕たちは、気に入った場所を見つけて繭を作り始めます。糸を吐き始めて1~2日で繭になりました。



できあがった繭からみんなで糸を取りました。1つの繭から、なんと4,4mの糸が取れました!繭は生糸や葉などになり、人の生活に役立ちます。人はいろんな命をいただいて、生かされていることをみんなで考えました。



《子ども祝福式》  
《収穫感謝礼拝》

11月8日(水)に子ども祝福式、11月15日(水)に収穫感謝礼拝を行いました。子ども祝福式では、今までの成長を神様に守られてきたことに感謝し、これからもいつも守られ、成長させてくださるよう祈りました。この日はお土産に、一人1つずつ、チューリップの球根を持って帰りました。寒い冬を乗り越えて春に花を咲かせます。子ども達が進級するときにかわいいチューリップの花が咲きますように。



収穫感謝礼拝後、持ち寄った野菜や果物を日頃お世話になっている方々に届けに行きました。年長さんはリテルライトのおじいちゃん・おばあちゃんと熊本電鉄の方にも届けてくれました。神様によって与えられた収穫の感謝をみなさんと分かち合うことができました。

「収穫感謝礼拝」保護者の方もラッピングのお手伝い





大学・幼稚園  
チャプレン  
崔 大凡

## 聖書の言葉



「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」 (ローマの信徒への手紙 12章 15節)

キリスト教は「愛の宗教」だとよく言われるように、聖書の数々のストーリーと教えの動機は神の「愛」です。その愛が最終的にかつ最大に顕れているのは、神が御子イエスをこの世に遣わしたこと、そのイエスが世の罪の代わりに十字架で死なれたこと。これにより、人は罪に死んで滅びるのではなく、信じて、イエスの復活とその命と共に与る者とされたこと。これがキリスト教の信仰であり、この世に示された神の愛です。

だからイエスは弟子に、神に愛され、救われた者としての新しい生き方についてこう命じられました。「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。」

それではどうすることが「互いに愛し合う」ことの実践で

しょうか。初代教会に送られた手紙の言葉の中にその具体的な姿が一つ示されていました。「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

確かに愛することとはこれです！私たちが愛してくれる誰かはきっと、私たちが喜ぶ時、悲しむ時、それを共にしてくれる誰かです。そして私たちが誰かを愛する時、私たちはきっとその存在に向けて同じ姿になります。「愛」とはぼんやりとした概念ではなく、愛する存在への具体的な姿勢であり動きです。

覚えましょう。私たちの心と労力が向かうところに私たちの愛があることを。そこで個人々人としての私たちも、集団としての私たちも、どこの誰に私たちの愛を注ぐべきかを。



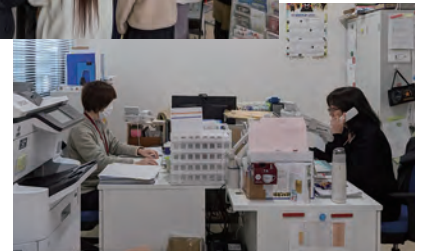
## 株式会社エル・サポート

2021年6月に設立しました九州ルーテル学院の事業会社である株式会社エル・サポートも、お陰様で第4期目に突入しました。

設立当初の目的である、学院の調達コストの削減と、教職員の業務の効率化を念頭にサービス向上に努め、学生・生徒等や教職員の皆さまの就学・就労環境改善のサポートを担っています。

2022年4月には、学院会館内に直営の売店「L Shop」をオープンし、利用者の皆さまへの利便性に努めております。

学院生活の中で抱く、「どこに頼んでいいかわからない」、「こんなことやってくれるのかな」・・・そんな疑問やご要望に寄り添って、一緒に考えていきます。まずはお気軽にお声掛けください。皆さまのそんな声をお待ちしております。



**Luther**  
九州ルーテル学院報  
No.23

発行 学校法人 九州ルーテル学院  
発行日 2024年2月16日  
編集 九州ルーテル学院広報委員会  
印刷 株式会社 河田印刷

ご意見・ご感想は学院広報委員会まで

〒860-8520

熊本市中央区黒髪3-12-16

TEL.096-343-3111

感恩奉仕

~Gratitude and service~